

住民協 ひろば

・・・言葉の花束「盛年不重来」・・・

先日、書棚を整理していたら、小学校の卒業文集が出てきた。こんなものがまだ残っていたのかと感心したり、あきれたりしたが、ページを開いてみた。

その見開きには「盛年不重来」という当時の校長の達筆な墨書きした字が一面を埋めていた。特に薰陶をうけたということではないが、校長講話というのがあり、実に威厳と教養にあふれていたのを思い出す。昨今のニュースで、盗撮したり、教え子に性的暴行をして、逮捕される校長/教師の話を目にすると、なんとも時代の流れに虚しさを感じる。

卒業当時、この5文字がなにを意味しているのかは理解できなかったが、あまりの達筆に感嘆し、芸術作品として見ていたような気がする。

今なら、多少知識があるので、この5文字の意味が分かる。

これは「盛年重ねて来たらず 一日再びあしたなり難し 時に及んでまさに勉強すべし 歳月は人を待たず」という陶淵明の漢詩である。あの時から数十年経過し、まさにその通りであるが、すでに遅しで、苦笑するしかない。

それにしても、小学生の卒業に際して、この5文字を言葉の花束にして、はなむけに送る校長の思慮深さに、今更ながら感心する。

しかしながら、この漢詩の原題は12句からなる五言古詩「雜詩」で、最後の4句を教訓好きの日本人が学問のすすめとして選び取った名詩なのである。

本来のこの詩は1句目の「人生根蒂無」から「歳月不待」までの12句あり、詩の意味は、あらまし「人の一生は木の根やへたのようにつなげおく物は無く、路上の塵の如く漂い飛び散る、風のままに吹き飛ばされ、舞い落ちたところで親しい人を作っていくものだ、そこで心を満たし歓びを得たなら、皆で酒を囲んでおおいに楽しもうではないか、若い時は二度やってくることは無い、一日に朝が二度やってくることはない、その機会を逃さず充実した時を過ごしたいものだ、歳月は人を待ってはくれないのだから」となる。

一般的に、陶淵明のこの詩は、最後の四句を一絶句とみることに慣れているので、今では学問を奨励する教訓詩となっていることに違和感はない。

しかし、陶淵明が言わんとした漢詩本来の意味を理解すると、その中に人生への教訓が読み取れて、これまたすばらしいのである。

この詩を読むと、人生には様々な出会いとそれに関する選択があり、それが自分の人生を形作ってきたのだと感じる。「誰にどのように世話になったか、誰にどのように報いてきたか・・・」そして今に満足し、身近な人々と大切な時間を有効に過ごしているのかを、自問自答する機会になるからである。

小学校の卒業文集にはいろいろな夢が書かれていて、幸を追い求める気概が感じられる。遠く見えないものに憧れを抱くのは人の性(さが)なのかもしれない。しかし今あることに満足し、有効に時を過ごしているか、そして身近な幸せに気付くことの大切さをこの漢詩は教えてくれる。

あなたは、たとえささやかでも、その足元にある幸せに気付いていますか？

校区住民協 理事（書記） 森戸久朝
（久木地区民生委員）

令和 7 年 5 月度役員会

開催日時と場所：2025 年4月5日（土）13 議題

(1) 行政からの連絡事項

①避難行動要支援者の個別援助計画の件

優先度をつけて実施する計画となっているが、優先度の高い人(S ランク)のリストは完成しており、

(2) 事務局からの報告事項

①逗子市住民協連絡会（3/28(金)実施）報告

今回は各住民協のフリートークだった。小坪地区から、使われなかった地域づくり事業経費を、他事業への流用が要請されていた。

② 逗子市池子接收地返還促進市民協議会の件
事務局から、昨今の世界情勢を鑑み、米軍基地とのかかわり方、基地の再評価などを整理する必要性などを提言したが、本件は2年以上かけて検討する必要があるとの見解があり、まず住民の池子問題に対する意識向上の為にプロジェクトが結成された。今年は11月に池子自然公園をオープンにしてみてもらい、活用を考えてもらうイベントを実施する予定。

③ 2025 年度総会準備作業スケジュール

総会に向けて、準備作業等の日程が確認された。

・総会は5月17日に久木会館にて対面で実施することが確認された。

・各部会長は4月12日までに2024年度活動報告、2025年度活動計画を事務局に提出するよ

時00分～15時15分 久木会館 出席者：17名（内役員14名）

介護事業者などの協力を得て個別援助計画策定を開始した。（対象は市全体で約50名）日程を調整して、現状を防災安全課より住民協に説明する予定。

う要請された。

・総会資料の最終確認は、4月15日の連絡会で実施することが確認された。

・会計監査日程：住民協、久木会館の決算に関して、監査を4月15日の連絡会のあとに実施することが確認された。

・第二号議案「2024年度決算書（案）」/第五号議案「2025年度収支予算（案）」の確認は4月15日の連絡会で実施することが確認された。

・会員送付資料準備・発送の件

総会資料は会員等に2週間前には発送しなくてはならないので、4/27の週の早い時期に資料の印刷完了、5月3日までには会員等への資料送付、各地区への配布・発送をすることが確認された。（訂正あり末尾の注記1参照）

④協議会/懇話会の件

市では様々な協議会/懇話会が開催されている。まず全容を把握し、住民協として参加することに意義のある会には、積極的に参加するように企画する。会員各位、参加協力するよう要請された。

(3) 審議事項

①3/26(水) 避難所運営会議の review

会議では避難所として最大の問題となるトイレ問題につき議論され、11月の避難訓練に向けて、勉強会の開催、課題の検討などをしていくことが報告された。またコミュニティスクールの協議会でも学校のトイレを災害時に使用することとなるので、避難所準備委員会とコラボして災害時のトイレ問題につき検討していくことが報告された。

②2025 年度総会資料の件

○第一号議案「2024年度活動報告」が紹介され、事務局案の確認が実施された。いくつか誤記の指摘があり、確認・修正された。

尚、会員数については資料の最終確認日5月役員会開催日現在とすることが確認された。

○第四号議案「2025年度活動計画（案）」が紹介され、事務局案の確認が実施された。いくつか誤記の指摘があり、確認・修正された。

特に2025年度の部会構成案につき協議され、減災部会を減災部と減災福祉部に分ける案に賛否があり、最終的に減災福祉部の1部会とすることになった。

○第六議案「役員選任の件」について下記事項が

確認された。

・副会長：久木連合町内会会長交代により、副会長として新会長の新倉氏、小林氏は理事に交代、山の根親交會会長交代により、副会長として新会長の川辺氏、瓶子氏は理事に交代

・理事：田倉氏は退会（訂正あり末尾の注記2参照）

③その他 a) 金沢踏切問題の件

安全対策強化につき、JRと都市整備課が住民協に説明するとのことなので、日程調整をする予定。

b) 久木小学校の再整備計画の件

前面の道路強度調査の結果を得て、工法の見直しをするのか、道路の強化をするのか判断されるので、再整備工事の予定は未定。

c) 生ゴミ処理場の件

葉山町と工事事業者との係争があり、事態が進展していない。逗子市の葉山町に対する補償要求の問題は今後の問題となる。

（注記）1. 校区住民協規約で総会資料は15日前までに発送とされているため、2週間を15日に訂正すると共に、期限を5月3日から5月2日に訂正する。

（注記）2. 役員選任の内容のため、退会を退任に訂正する。

《レポート》 新しい県地震被害想定調査報告書

逗子市の被害想定

鈴木 為之（山の根在住）

新しい神奈川県地震被害想定調査報告書が、令和7年（2025）3月26日に公表されました。

前回平成27年（2015）に公表された報告書に続くもので、その後発生した地震の事例、最新の科学の知見、そして県の自然条件や都市環境等の社会条件及び産業構造等の特性も加味して作成されたとされています。

被害想定は、基本は250m四方のメッシュの区分から得られる情報を市町村ごとにまとめてあり、又想定する地震は、県内に被害をもたらす6個のケースに、参考として5個の特殊例を加えて11例が挙げられています。

それらの中から逗子市に関係が深いと思われる、三浦半島断層群の地震、都心南部直下地震、大正型関東地震、南海トラフ巨大地震の4例の、当市に関わる被害想定を別表で纏めてあります。

尚、この県の報告書は、神奈川県ホームページに掲載されていますので、詳細はそちらでご覧いただけます。

想定条件は、冬の平日、18時、風速・風向きは気象観測結果に基づく地域ごとの平均津波による人的被害の想定に当たっては、平日午前0時を想定・・・いずれも最も厳しい条件

地震種		三浦半島断層群地震	都心南部直下地震	大正型関東地震	南海トラフ巨大地震
項目					
発生確率		30年以内 8～11%	30年間で 70%	30年以内 0～6%	30年以内 80%程度
マグニチュード		7.0	7.3	8.2	9.0
建物被害	全壊棟数	780 棟	350	3250	1460
	半壊棟数	2570 棟	1880	4830	2280
火災被害	出火件数	1～9 件	1～9	10	0
	焼失棟数	70 棟	70	210	0
死傷者数	死者数	30 人	10	800	0
	重症者数	10 人	0	50	0
	中等症者数	130 人	90	410	0
	軽症者数	230 人	170	510	0
避難者数	1日目～3日目	8370 人	6150	17630	7070
	4日目～1週間後	3070 人	1980	17620	7070
	1か月後	3060 人	1970	8640	6170
要配慮者					
避難者	高齢者数	3500 人	2660	8630	4270
	要介護者数	830 人	630	2120	1020
断水人口	高齢者数	7930 人	6030	13760	1～9
	要介護者数	1880 人	1430	3260	1～9
家屋被害	高齢者数	2240 人	1920	5220	1～9
	要介護者数	530 人	460	1240	1～9
帰宅困難者	直後	4170 人	4170	4170	4170
	1日後	340 人	790	2830	1～9
	2日後	310 人	770	2700	1～9
自力脱出困難者		80 人	30	500	1～9
ライフライン					
上水道	断水人口：直後	19610 人	14920	34010	10
下水道	機能支障人口	3660 人	3340	7290	370
都市ガス	供給停止件数	1～9 件	1～9	21830	1～9
LPガス	供給支障数	60 件	50	70	1～9
電力	最大停電軒数	3980 軒	2180	17590	16260
通信	不通回線数	3720 回線	2020	9440	8930
災害廃棄物量	万トン	20	1～9	50	20

《 寄稿 》

店員とひとことも言葉を交わさず 食事をする時代が来る

2025・01・22
駄洒落栖人

今にこうなっちゃうかも
有楽町にあるとあるカレー屋に入った時のこと。
席に座ると店員の男性が、レシート挟みに大きな
QRコードをあしらったシートを挟んで黙って
置いてった。

なんだろうといぶかしく思っていると先ほどの
男性、

「スマホで読み取って注文してください。」って。
言われた通りに。

注文品がすぐ来た。もう、作ってあったのかと思
うほど…の速さ

ふと思うこと、スマホ持っていない人が入ってき
たらどうなるのか、注文できないのか。

いたずら精神、全開。

聞いてみた。あのね、スマホ持っていない人は注文
できないの？

「できますよー」単純な一言。

考えた。

スマホ、タブレットで注文して、
ロボットが注文した品を運んでくる。

食べる。

お支払いをテーブルにあるタブレットから電子
決済。レシートを入り口のお会計に持っていく必
要もない。

後ろを振り返ると店員の一人が、食べたお皿を片
付けている。

店員との会話は、まったくない。接しなくても
注文して、食べて、お金を払って、店を後にする
だけ。それでお腹は満たされて。

で、いいのか…。

私は「ヤダ」。

もう少しでこんな店が現れる。

人手不足を理由に。

校区住民協 監事 細野 裕

編集後記

ミツバツツジと「神武寺」・・・私は逗子の「神武寺」の雰囲気
が大好きである、JR 東逗子駅に近く、鬱蒼とした参道を登る事約
20 分、登り詰めると、空気が変わった様な神聖な雰囲気に包まれた
寺が現れる。更に階段を上って行くと、荘厳の祈りの場「薬師堂」に
辿り着く。自然に包まれた開闢 724 年の古刹を訪ねると「春夏秋冬」
四季折々の美しさを感じる事が出来る。春のこの時期は、寺に
自生するミツバツツジが美しい。ミツバツツジは関東から中部地方
の山野に自生する落葉低木で、4 月から 5 月に開花し、平地のツツ
ジより上品な淡い紫色である、この時期は荘厳の寺の建物を包み込む様に美しいミツバツツジが咲き誇
る。

参道の桜並木が古木化した為、寺のミツバツツジの種と枝を採取しポット苗で育て、参道をミツバツ
ツジの参道にする壮大なプロジェクトを仲間が手掛けている。いつの日か薄紫色の美しい花で覆われた
参道を登って行く事を夢見ている。ミツバツツジの花言葉は節制、抑制の効いた生活である、神武寺の
雰囲気にマッチしている。これはミツバツツジが岩場を好む事に由来している様である。

事務局長 石井 達郎



《 2025 年度総会開催のお知らせ 》

久木小学校区住民自治協議会の 2025 年度総会を下記の要領で開催します。
是非ご参加ください。

記

日時：5 月 17 日（土）、14 時～16 時

場所：地域活動センター久木会館（久木小学校体育館 1 階）